

**〔長久手町業務評価票：平成20年度業務〕**

担当課・係名	計画課 都市整備係【問合せ・質問等の先（内線番号）317】
第4次総合計画の 該当項目	<input type="checkbox"/> 2節 <input type="checkbox"/> 1項 <u>人にやさしい住宅の誘導</u>

<b>業務の名称</b>	地区計画関係業務			
(1) 根拠法令・条例	都市計画法・建築基準法・地区計画条例			
(2) 当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の <u>14.0</u> % (係の総業務量を100%とする) 職員延人数： <u>73</u> 人・日 (臨時雇用者延人数： <u>17</u> 人・日)			
(3) 事業費 (人件費分を除く)	<u>0</u> 千円 (平成20年度決算(細目・細々目の実績から抽出・算定する))			
(4) 補助率(補助金がある 場合のみ記載)	<u>    </u> % (平成20年度実績)			
(5) 業務期間	開始した年度	昭和60年度	終了(予定)年度	年度

(6) 業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載)

①業務目的(達成目標)	それぞれの区域(地域)の特性にふさわしい態様を備えた良好な環境整備及び保全を図る。
②業務が対象とする住 民(地域、層)	地区計画内の土地所有者・管理者等
③業務の具体的な実施 内容・方法 (平成20年度実績)	地区計画の啓発、案内、指導を行い、年間132件の受付業務を行った。

④業務の実施結果 (平成20年度実績)	啓発、案内、指導を行った						
	【業務結果の説明指標】						
		結果の説明指標	17年度	18年度	19年度	20年度 実績	将来目標
	1	地区計画の受付件数	77件	131件	178件	132件	
	2						
	3						
	4						

(7) 遂行上の問題点、取組課題 (箇条書きで簡潔に記載)

規制内容の表現が分かりにくいところがあり、トラブルの原因となっている。申請者はいろいろ多種多様にわたって申請に来る。詳細の部分での内規を作成し、申請者に対応できる対策を考える。

(8) 改善実績 (過去4年間の実績)	
トラブルの原因となっている内規をその時々において作成し、今後の申請に対応している。	

(9) 業務の評価 (自己診断)		
評価基準	評価の視点	三段階評価 (2~0点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	2点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	2点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	2点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	2点
⑤総合計画との整合	総合計画(基本計画)の方針に対応しているか。	2点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	1点
2点: 成果あり、適切だった    1点: ある程度適切だった    0点: 適切でなかった、遅れている		平均 1.8点

(10) 総合評価 (課の見解)	
①今後の方向 (該当番号に○印)	<input checked="" type="radio"/> 1. 前年度と同じく、そのまま継続する。 <input type="radio"/> 2. 見直して継続(業務の拡大) <input type="radio"/> 3. 見直して継続(業務の縮小) <input type="radio"/> 4. 見直して継続(方法の改善) <input type="radio"/> 5. 見直して継続(他業務と統合) <input type="radio"/> 6. 廃止する。 <input type="radio"/> 7. 休止する。
②評価理由	他の地域においても、今後よりよい街づくりに有効な地区計画制度の拡大を検討していくため

(11) 今後の目標・改善方針 (具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること)	
①改善目標	今後、民間開発や区画整理組合が行われる地域において地区計画制度を強化拡大していく。
②改善時期	随時
③改善方法	地権者や事業者理解していただけるように分かり易く説明する。